

RS ウイルス感染症の治療のため、当院に入院された患者さんの診療情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者
京都中部総合医療センター 小児科
伊藤陽里
連絡先電話番号 0771-42-2510

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、当院倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 対象となる方

対象：2016年1月1日から2018年8月31日の期間中、当院でRSウイルス感染症（アールエスウイルス感染症、以下RSV）の治療のため入院された2歳未満の方

2. 研究課題名

京都府における重症RSV症例の発生動向についての多施設調査

3. 研究実施機関

京都第一赤十字病院新生児科

4. 本研究の意義、目的、方法

- RSVは冬季に流行する乳幼児の重症呼吸器感染症の重要な病原ウイルスであり、乳幼児期早期や基礎疾患を持つ患者さんに対して入院を要するような重症下気道感染症を起こすことがあります。近年、RSV流行時期の変化が顕著であり、夏季～秋季に流行のピークが見られるようになっていきます。

- 本研究の目的は、今後のRSV感染症の重症化予防策を考える上で、京都府内の重症RSV患者の発生動向を把握することです。本研究は今後、重症RSV感染症診療やRSV感染予防を行っていく上で、有益な情報になると考えます。
- RSV感染症のため当院に入院した2歳未満の患者さんについて、診療内容の情報を電子カルテから収集いたします。

5. 協力をお願いする内容

入院年月、入院時月齢、性別、在胎期間、基礎疾患の有無、パリビズマブ（シナジス）の接種歴、重症度など、診療録に記載されている情報を提供いただきます。

6. 本研究の調査実施期間

2018年11月1日～2019年8月31日

7. プライバシーの保護について

本研究では、匿名化した患者様のデータを集計し、その数値を結果として発表する予定ですので、患者様個人の診療情報が発表されることはありませんし、また、患者様を特定できるような情報も含まれません。

8. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

京都第一赤十字病院

新生児科 副部長 木下大介

連絡先: 075-561-1121

E-mail: daisuke-kinoshita@umin.ac.jp

以上